

## Broaden your horizons ⑩③ ～さあ、視野を広げて!～



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

私の実家は岸和田藩主の末裔です。父の幼少期、登下校は送り迎え、食事は料亭から、自分で服を着たこともありません。しかし、祖父が早く亡くなり、戦後の財閥解体と周囲の裏切り

に、世間知らずの祖母は金の茶釜を直火にかけて溶けたからと捨て、やんちゃな父は家康からもらったお茶碗をお箸で叩いて割る、という「漫画か!」という逸話満載の末、見るも無惨に落ちぶれ、父は自分で稼ぎながら大学に通いました。私と兄は岸和田城や住んでいたお屋敷、その名残でやたらと立派なお墓をいつも複雑な思いで眺めていました。

浮き沈みを経験した父は非常に明るくアイデアマンです。よう出ると評判の下剤「ヨーデルS」の名付け親でもあります。幼い頃の名残で父はグルメです。その影響で兄も小さい頃から食にうるさく、色んなことに興味を抱く少し変わったドクターです。

先日、母から「兄がニュースに出るから見て!」と。新聞のテレビ欄を見ると「密着!! 医師考案の弁当」と関西のニュース番組にあります。「おお、お兄ちゃん、密着されている!?!」。

「現代人はタンパク質の摂取が少ない。だから低糖質、高タンパクを心がけなさいといけない。良質のタンパク……それは野生の動物!」ということで、有害鳥獣に指定され、駆除されている野生の鹿とイノシシに目を付けたのです(なるほど、ナイスアイデア!)。そして「はせ川」(島田紳助さんがオーナー)とコラボして、料理長に「砂糖もみりんも使わず、甘みを出せ」などと“無茶”な注文を押し付け、“苦茶”に困らせながら、何とかお弁当ができました。食べる順番は、繊維質⇒タンパク質⇒糖質の順で、食べる前と食べた後の血糖値を測り、血糖値が上がらないことを検証していました。阪急百貨店宝塚店で販売、2,500円もするのに大人気!と報じられました。日本アンチエイジング歯科学会大阪大会で兄の講演があり、立ち見が出るほど大盛況の中、そのお弁当の試食が始まりました。歯科医の先生たちからは「野生の肉は歯ごたえがあり、歯科医としても奨めたい」と言ってもらっていました。

え～、私もそのお弁当、食べてみたい!

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子